

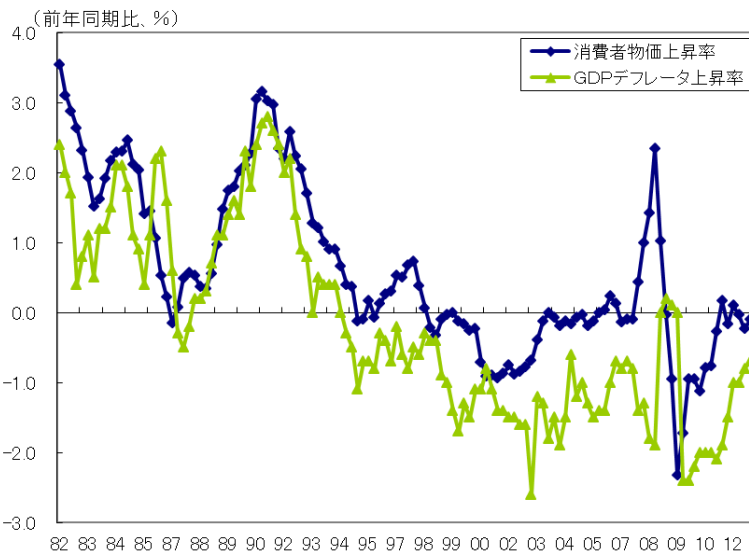
7. デフレとインフレ

経済政策
(2013年度春学期)

キーワード

- デフレ(デフレーション) …… な物価下落
 - デフレはなぜ悪いのか？
 - デフレ・
 - デフレの要因：
 - ① 要因、② 要因、③ 要因
 - 需給ギャップ
- インフレ(インフレーション)
 - ・インフレ
 - ・インフレ

物価の現状



(備考)総務省「消費者物価指数」、内閣府「国民経済計算」より作成。消費税の影響を控除。

3

「デフレ克服」の方針

- 「デフレ」の定義（政府による）
＝「持続的な物価下落(2年以上)」
- 政府のデフレ認識
 - 物価の動向を総合してみると、**緩やかなデフレ状況**にあるものの、このところ一部に変化の兆しもみられる。(「月例経済報告(2013年6月)」)
- デフレ克服に関する政府の方針
 - 現下の**最優先課題である長期にわたるデフレ**と景気低迷からの脱却を実現するためには、停滞の20年の反省に立ち、これまでとは質・量ともに次元の異なる対応が必要である。
 - 相互に補強し合う関係にある「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」(いわゆるアベノミクス)を一体として、これまでと次元の異なるレベルで強力に推進していく。

(「経済財政運営と改革の基本方針」(2013年6月14日閣議決定)より抜粋)

4

デフレの何が問題か

- ① 売上高の減少により を圧迫
製品価格が下がると同量だけ売れても売上金額は減少
⇒ 賃金が下がらなければ・・・企業収益を圧迫
賃金が下がれば・・・所得・消費が低迷
 - ② 実質金利を高止まりさせ、 を抑制
実質金利 =
 - ③ 企業の実質的な債務負担が なり、企業活動を抑制
 - ④ 今買うと損(値下がりを待つ) → を抑制
- ※ **デフレ**・
物価下落 → 企業活動・消費低下 → 景気後退(モノが売れない)
→ 更に物価下落 → 更に景気後退 …… 悪循環

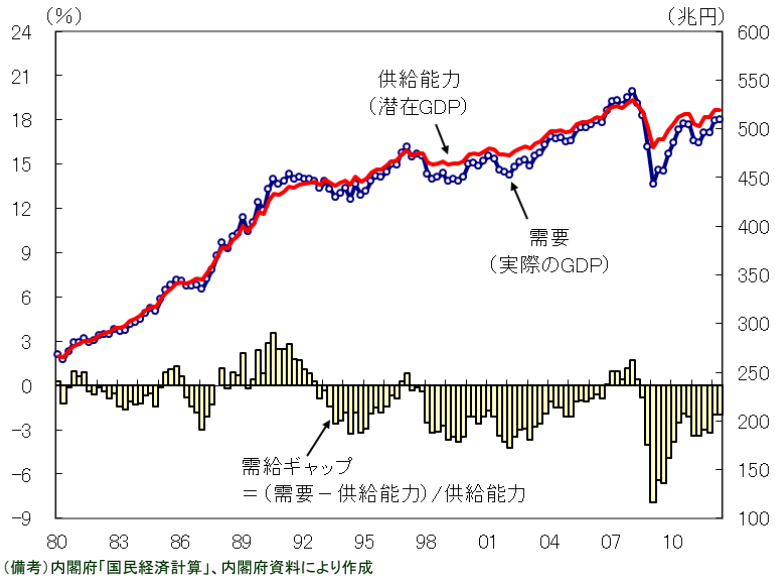
5

デフレの要因

- ① 需要要因 ▶
 - 経済の供給能力に対して が低迷
⇒ 物価下落圧力
- ② 供給要因 ▶
 - での生産・供給の増加
 - による価格低下(IT製品、デジタル家電等)
 - による価格競争の高まり(電話料金、航空運賃等)
 - の増大(ユニクロ等)
- ③ 金融要因
 - の機能不全 ⇒ 日銀がマネタリーベースを供給しても貸出・マネーストックが増えない

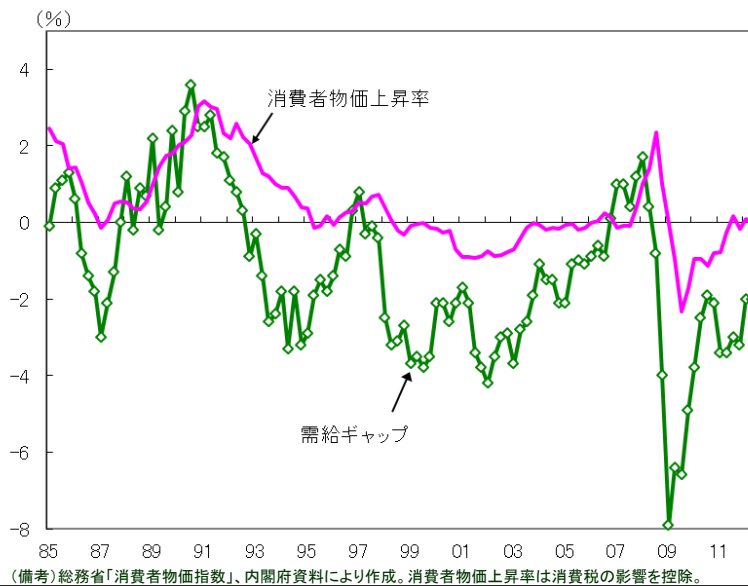
6

需要要因① 需給ギャップ



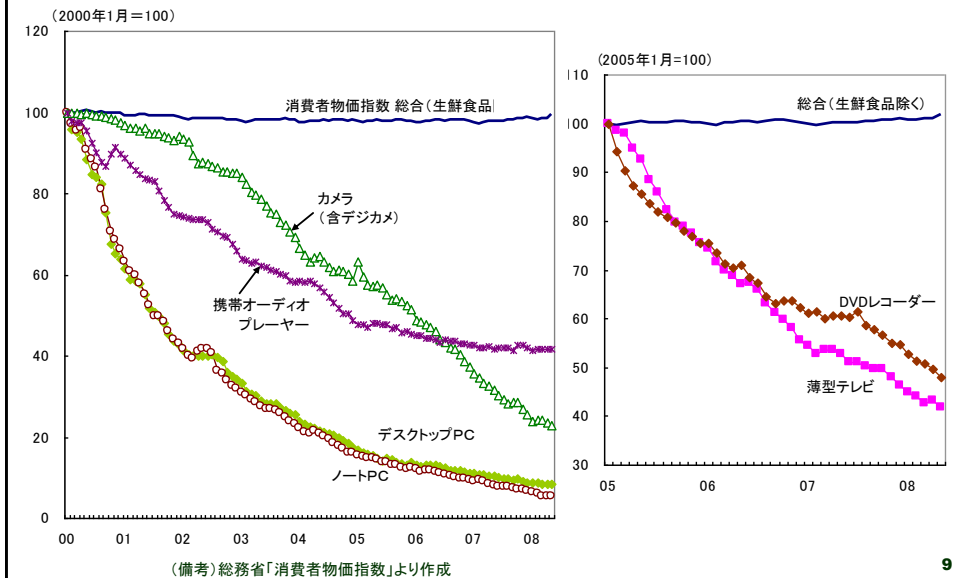
7

需要要因② 需給ギャップとインフレ率

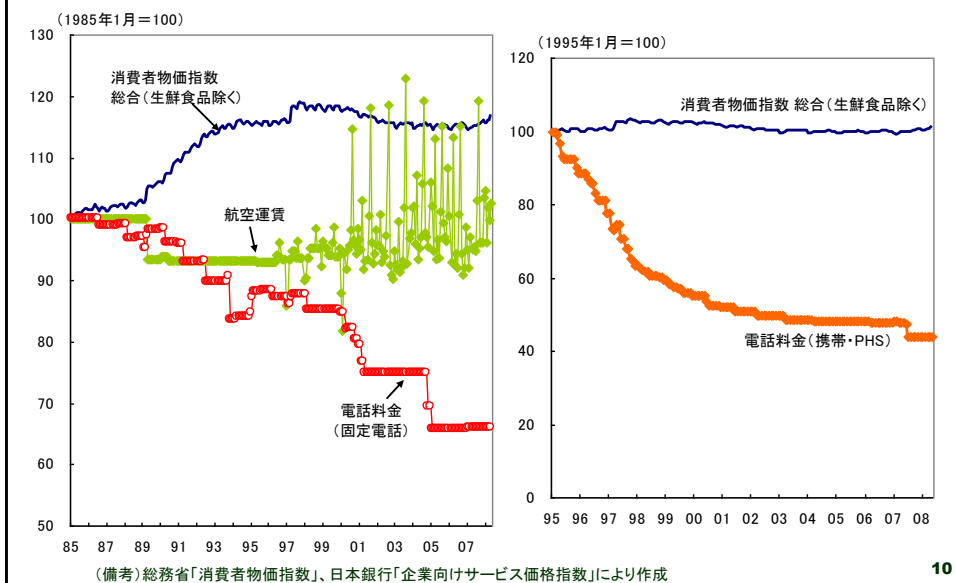


8

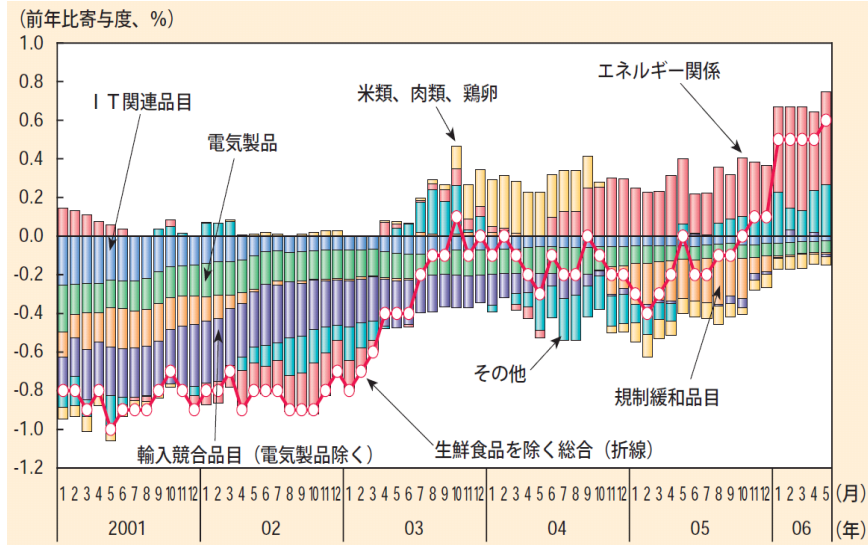
供給要因① 技術進歩



供給要因② 規制緩和



デフレの要因分解(供給要因)

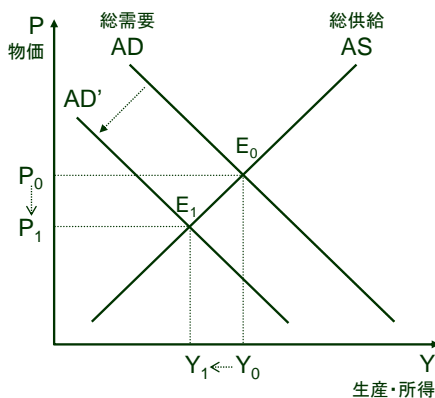


(出所)内閣府「平成18年度経済財政白書」

11

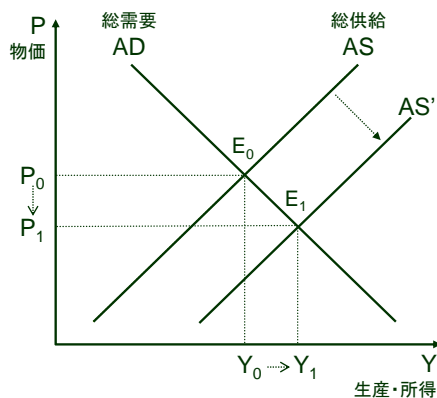
デフレ: 需要要因と供給要因

■ 需要要因によるデフレ



物価が下落し、生産・所得も減少
→「悪い」デフレ?

■ 供給要因によるデフレ



物価が下落し、生産・所得は増加
→「良い」デフレ?

12

デフレの対応策

① 需要要因

□ 財政政策 ⇔

□ 金融政策 ⇔

※「非伝統的」金融政策の提唱

…インフレ・ターゲット、現金保有税等

② 供給要因

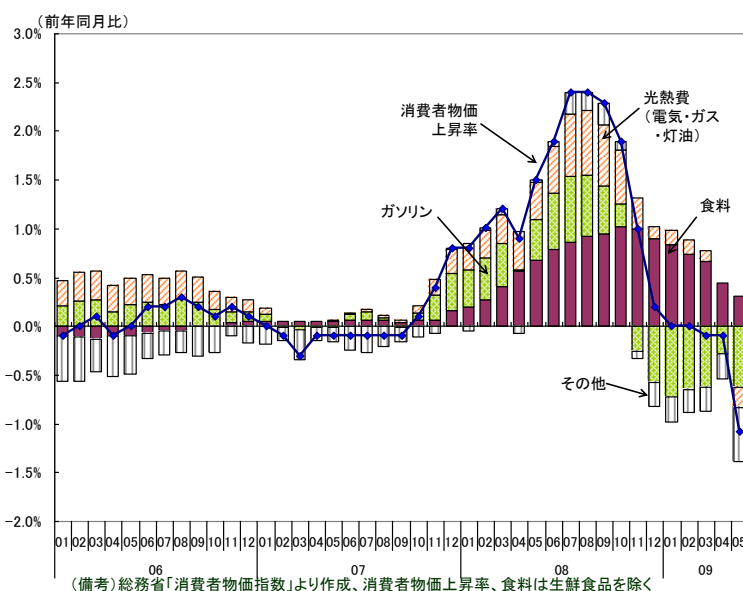
□ 対応不要? (「良い」デフレ?)

③ 金融要因

□ 金融システム改革、不良債権処理

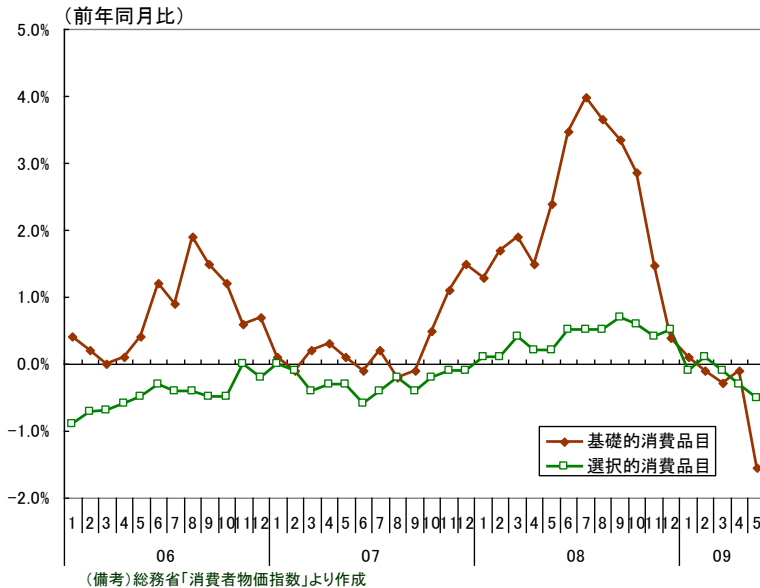
13

2008年の物価上昇



14

基礎的消費と選択的消費のインフレ率



15

需要の価格弾力性と基礎的消費・選択的消費

- 需要の価格弾力性
 - 価格が1%上昇したときに、需要が何%減るか
- 需要の価格弾力性が小 (< 1)
 - 価格が上昇しても、需要(消費)は大きく減らせない
 - ⇒ 支出金額は
 - … 消費 (例) 食料品、生活必需品、光熱費等
- 需要の価格弾力性が大 (> 1)
 - 価格が上昇すると、需要(消費)は大きく減る
 - ⇒ 支出金額は
 - … 消費 (例) 外食、趣味・娯楽、海外旅行等

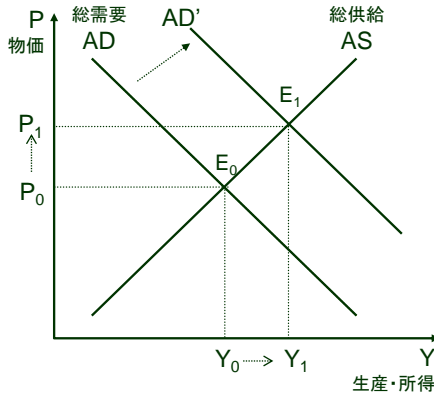
※.2008年の物価上昇は基礎的消費品目为中心

- ⇒ 物価が上昇しても消費は減らせない → 支出が増えざるを得ない
- 家計を圧迫・負担感が強い

16

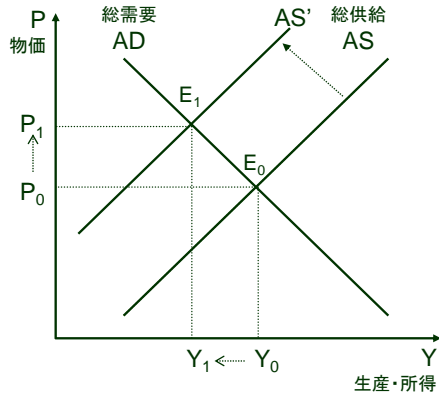
デマンド・プル・インフレと コスト・プッシュ・インフレ

- 需要要因によるインフレ
(デマンド・プル・インフレ)



所得が する中で、物価が上昇

- 供給要因によるインフレ
(コスト・プッシュ・インフレ)



所得が する中で、物価が上昇

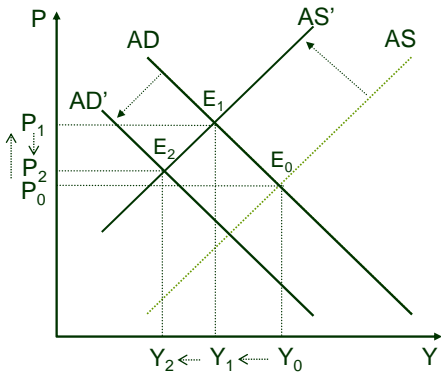
17

インフレの対応策？

金融政策が働きかけるのは需要側

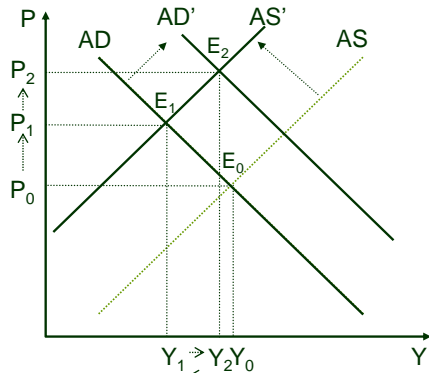
⇒ 供給側の要因によるコスト・プッシュ・インフレには対応困難？

- 金融を引き締めると？



物価は が所得は更に



- 金融を緩和すると？



所得は が物価は更に

8

自主学习

- デフレは問題なのか？
 - 物価が下がることが何故問題か？ デフレの弊害は何か？
 - 「良い」デフレ、「悪い」デフレ？
- デフレ脱却のためにはどのような政策が必要か？  
 - デフレの要因は何か？
 - 財政政策に何が可能か？ 金融政策に何が可能か？
- 再び原油価格が高騰するなど、本格的にコスト・プッシュ・インフレへ進んだ場合、政府・日銀はどのように対応すべきか？
 - 日銀は、金融政策を引き締めて物価上昇を抑えるべきか、金融を緩和して生産・所得の減少を食い止めるべきか？
 - 政府は、財政政策も含めて、どのような対応をすべきか？

【参考書の主な関連箇所】

- 日本経済読本：第1章 第2節
- ゼミナール日本経済入門：4章
- ゼミナール経済政策入門：第8章

【読書案内】

- 吉川洋(2013)『デフレーション：日本の慢性病の全貌を解明する』日本経済新聞出版社